

# 雇用調整助成金 出向元事業所支給対象賃金補填額調書

様式第6号(4)-1

① 出向先 事業所 名称・住所	② 出向 労働者 氏名	③ 被保険者 番号	④ 被保険者 資格取得 年月日	⑤ 出向 開始 年月日	⑥ 出向 終了予定 年月日	⑦ 出向開始日前の 6箇月間に雇用 調整助成金等の対象と なる出向が終了した ものであるかどうか	⑧ 労働日に通常支払われる賃金の額			⑨ 出向労働者 が出向しな くなった理 由と年月日	⑩ 支給対象 期における 賃金補 填額	⑪ ⑧のイの 額×1/2	⑫ 裏面の注意の 7により算定 した額	⑬ ⑩又は⑫の うちいずれか 低い額 支給対象 賃金補 填額	※ 確認欄
							イ 出向 開始日の 前 日	ロ 当該支給 対象期の 末 日	ハ (注) 旦×100 イ						
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当	円	円	% ( . . )	円	円	円	円		
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当									
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当									
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当									
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当									
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当									
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当									
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当									
						該当(出向終了年月日 年 月 日) 非該当									
合計	人	人								円			円		

(注 意)

1. この調書は、様式第6号(2)-1の添付書類として作成してください。
2. ②欄以下は、出向先事業所ごとに上からまとめて記入してください。
3. ②「障害の有無」については、障害者の場合に「障」と記入してください。
4. ⑦欄には、雇用調整助成金(出向)又は通年雇用奨励金の支給対象となる出向の終了日の翌日から起算して6箇月後の日までに、当該労働者を再度出向させるものかどうかを記入してください。
5. ⑧のイ欄及びロ欄は、それぞれ次の方法によって起算した額を記入してください。

$$\text{イ欄の額} = \left( \begin{array}{l} \text{当該出向労働者の出向開始日の前日における時間外、休日及び深夜の割増賃金の算定の基準となる1時間当たりの賃金の額} \end{array} \right) \times \frac{[\text{当該出向労働者の出向開始日前1週間の総所定労働時間数}]}{[\text{当該出向労働者の出向開始日前1週間の総所定労働日数}]}$$

$$\text{ロ欄の額} = \left( \begin{array}{l} \text{当該出向労働者の当該支給対象期の末日における時間外、休日及び深夜の割増賃金の算定の基礎となる1時間当たりの賃金の額} \end{array} \right) \times \frac{[\text{当該出向労働者の支給対象期の末日以前1週間の総所定労働時間数}]}{[\text{当該出向労働者の支給対象期の末日以前1週間の総所定労働日数}]}$$

ただし、当該出向労働者が支給対象期の中途中で出向しなくなった場合には、「支給対象期の末日」は「出向しなくなった日の前日」と読み替えてください。

6. ⑩欄には、出向元事業主が出向先事業主に対して出向労働者の賃金(臨時に支払われた賃金及び3箇月を超える期間ごとに支払われる賃金を除く。以下同じ。)について補助した額のうち当該支給対象期(当該出向労働者が支給対象期の中途中で出向しなくなった場合には、支給対象期の初日から出向しなくなった日の前日までの間。以下同じ。)において出向労働者の賃金に補填された額(その合計は、様式第6号(2)-1の⑧欄の合計と一致するもの。)を記入してください。
7. ⑪欄には、⑩欄に記入した額又は(基本手当日額の最高額×助成率の逆数)のうちいずれか低い額に(330/365)及び当該支給対象期における支給対象期の日数を乗じた額を記入してください。
8. ※印欄には記入しないでください。